

2 個別事業評価調書

団体名: 笠置町

| | | | | | |
|---------------|--|--|-----------------------|---------------|-------|
| 事業名 | | AED整備事業 | | | |
| 事業の概要 | | 住民として、また行政として身近に医療施設があることは、その地域で生活するうえで非常に重要なことであり、安心して安全なまちづくりに欠かせない要素です。笠置町における最も身近な総合医療施設は、木津川市にある山城病院で、自動車です約30分の距離に位置しています。 しかし、不幸にも突然のアクシデントに遭遇した場合、緊急車両の要請を行い、医療施設に搬送されますが、その緊急車両が到着する数分間に適切な処置ができるかどうかによって、疾病者の回復度合いや生存率に大きく関わるのが新聞紙上等で伝えられています。そのため、もしもの緊急事態に備え、行政として万全の準備が求められています。 そこで、昨年度実施した安心・安全なまちづくり事業の一環であるAED整備事業に引き続き、本年度もAED2基の整備を行いました。 | | | |
| | | 事業期間 | 平成20年6月30日～平成20年7月18日 | | |
| | | 総事業費 | 646千円 | 本年度事業費 | 646千円 |
| 事業評価 | 事業の必要性 | 緊急車両が到着する数分間の救命処置として、AEDの活用が謳われ、近隣のどの自治体でも整備が行われています。救急救命講習ではAEDの取扱方法を交えた講義を行っており、その取扱は電子機器の向上により機械からの支持によって適切に操作することができ、また必要でない疾病者については必要ないこととして作動の抑制が行われるという極めて優れた救命器具となっています。また、この講習は受講を希望すれば誰でも受けることができることから、AEDの普及が高まれば、一層の救命体制が図れ、安心・安全なまちづくりに繋がります。 | | | |
| | 事業の有効性 | | | | |
| | 事業の効率性 | | | | |
| | 具体的な成果 | 1 府と市町村等との連携に資する成果 | | | |
| | | 2 住民の自治意識を高める成果 | | | |
| | | 3 リーディング・モデル成果 | | | |
| | | 4 広域的波及成果 | | | |
| 5 行財政改革に資する成果 | | | | | |
| 6 その他の成果 | 本年度整備したAEDは笠置町役場及び中央公民館にそれぞれ1基ずつ配備しました。また、昨年度購入したAED3基は設置型であるのに対し、本年度分は持ち運び式のものとなりました。そのため機動性が高く、職員常勤の場に配備していることから、緊急時の即応性が高いものとなり、住民にとっての安心・安全なまちづくりに繋がることができました。 | | | | |

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。